

わいわい、がやがやあちこちから思い出が語られて、繋がっていく

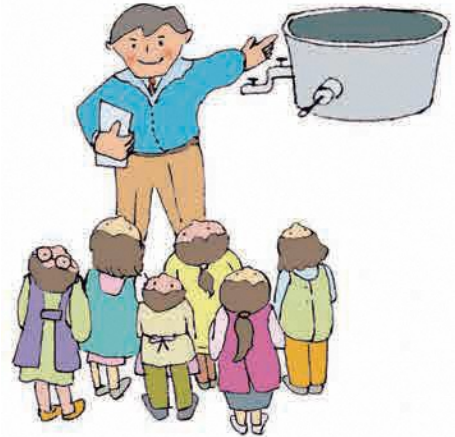
● はじめの一步は…



「わたしあ、まーだ若かったけんね〜もう 30 年以上前のことやけん。
先輩のお姉さんたちの後ろからついていったとよ。専門の人が来て、
最初は、機械のつかいかたやらなろうたと。」



「役場から各部落の婦人会に声の掛かって。
そんな時、できるもんが参加したと。
それから家で味噌ば作っとた人も
あたらしかグループば作ってここで
作るようになったとよ。」



「最初の 5 年間くらいは、よう研修のあった。
指導員さんが来て、豆腐やコンニャクも
作ったとよ。蕎麦も作ったねえ。」



「豆腐は難しかったね。職人さんにはかなわんやった。コンニャクは久山の
畑でもこんにやく芋ば作ったばってん猪に食われてね〜続かんやったね。」



「バスで視察研修もあったね。飯塚とかにも行っ
たよ。ゴボウや人参の乾燥野菜とか見せてもろ
うた。」

● よかトピアが販売のきっかけに



「よかトピア (1989 年) で味噌ば、来た人達に配ったたい。そしたらそれが
えろう評判のよかったけん、そんな頃から味噌の販売ば考えることになったと
よ。」「あんときは、凄かったね。人のいっぱいきてさあ」

● イベントでは「わかば会」ならではの菓子や弁当の販売



「さくら祭りや食フェスタにもよー出たね。味噌もやけど黒米の
おはぎ、がめのは餅、山菜おこわ…。羽釜で新米炊きもてつどう
たね。あれもこつのいるとよ。いろいろやってきたねえ」

